万が一の事故にそなえて救急体制も万全です。

近隣に医療施設が無いこともあり、入退域管理施設には 救急科専門医師、救急救命士、看護師が 24 時間常駐。 計 4 台の救急車やレントゲン、AED など救急体制医療 機器も充実しています。



安全講習を実施。

構内で働くスタッフに向けて、安全帯の正しい使用 方法を丁寧にレクチャー。 転落・落下などの事故防 止に努めています。

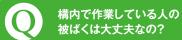


更なる環境改善へ向けて。

東京電力ではアンケート調査や現場の方々との意見交換会を定期的に行い、労働環境の改善に取り組んでいます。今後も皆さんの声を踏まえて、安全でより働きやすい労働環境を整備し、廃炉作業を着実に進めてまいります。



O&A





事前に作業現場の放射線量を調べ、除染を行うことや、放射線を遮ること、加えて作業する時間の調整などにより、作業員の方の被ばく線量を低く抑えるように管理しています。

再爆発する

再爆発する危険性はないの?



再爆発の危険性を限りなくゼロにするために、窒素ガスを入れて換気することにより水素の濃度を抑えたり、水が途絶えることがないよう、さまざまな仕組みを準備しています。

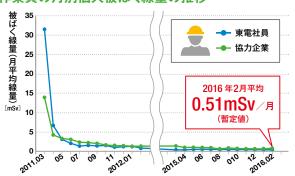
Q

発電所からは今も大量の 放射性物質が出続けているの?



大幅に減少しています。2016年2月時点で、放射性物質による発電所周辺の月間被ばく線量は事故当時の約50分の1です。

作業員の月別個人被ばく線量の推移



詳しい情報はこちら http://lf-all.jp/

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所

〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22 電話(0240)32-2101

TEPCO

福島第一原子力発電所の今



防護服への着替えは、 装備交換所で!

敷地内のあらゆる場所で地表を舗装するフェーシング工事が実施され、 放射線量が大幅に低減された結果、一般作業服や簡易マスクで作業 出来るエリアがご覧のように拡大しました。また、新たに装備交換所が 設置されたことで、これまでは入退域管理施設などで防護服や全面マス クを装着して作業現場に向かっていましたが、現在は建屋周辺で作業 をする場合でも装備交換所まで一般作業服等で移動し、防護服に着 替える事ができるようになりました。作業の軽減・効率化が実現しました。



労働環境が大幅に改善。

通勤もラクラク

事故当初は、Jヴィレッジでバ スに乗る時から防護服と全面 マスクの着用が必要でした。 現在では発雷所構内の施設 で着替えが可能となり、普通 に作業服で通勤できるように なりました。

夏場の暑さ対策も万全

屋外作業現場では、クール ベスト用の保冷材の貸し出し や、移動式給水所による水 分補給を実施、各休憩所に 冷凍庫を設置しています。ま た、「暑さ指数〈WBGT値^{*}〉 25℃以上の際は、原則とし て連続作業時間を2時間以 下 | など熱中症を防ぐルール を設けています。

※単純に気温だけでなく、湿度や日差しの違いも 考慮した熱中症予防につながる暑さの指標



軽装備で





大型休憩所でリラックス

入退域管理施設と直接つながる地上9階、 約1.200人収容の大型休憩所が完成。 防護服とマスクを脱いでくつろぐことができま す。食事スペースのほかに、テーブルと椅 子を配した休憩スペースがあり、一般的なオ フィスと変わらない快適な空間です。



いやー、楽ですよ。 昼休みをとって、 た午後から頑張ろう という気になります

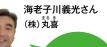
松本和雄さん 東京パワーテクノロジー(株)

食生活も大幅に改善

大熊町に完成した給食センターで作られた温 かい食事を、大型休憩所で食べられるよう になりました。献立は、日替わりで毎日昼食 5種類、夕食3種類の中から選べます。







美味しいし、 温かい食事は 何よりですね



ここまで環境改善、 整備が進んでいます。

事故当初はいたるところにガレキが散乱し、 歩くスペースもないほどでした。 それが今ではこのとおり、整備が進んでいます。

2011年 トトトトトトトトトトトト 2016年

4号機



タンクエリア



フェーシング工事



News

3月1日ローソン開店!



大型休憩所2階、食堂の 隣にローソンがオープン。 ますます便利に。日用品を 始め、おにぎりやサンドイッ チ、ベーカリー、即席麺そ してデザートまで。充実した 品揃えです。

営業時間6:00~19:00(日曜日休み)